

「ひょうしん」県民ボランティアタリー活動賞」を 平郡真弓さんと朗読ボランティア「のぎく」が受賞

平成15年度「ひょうしん」県民ボランティア活動賞」の授賞式が1月24日(土)、神戸ハーバーサカススペースシアターで行われ、播磨町では個人の部で平郡真弓さん(本庄)、団体の部で朗読ボランティア「のぎく」が受賞されました。

●個人の部 平郡 真弓さん(本庄)
平郡さんはガールスカウトの指導者として、子どもたちの育成活動に貢献されています。

16年間活動を続ける原動力をたずねると「ガールスカウトの」自己開発・人との交わり・自然とともに「を柱とした活動の中で、子どもたちからエネルギーをもらって、私も元氣



▲平郡さんとガールスカウトのメンバー

になれます。だから、この活動が好きなんです」と笑顔で話してくれました。

●団体の部
朗読ボランティア「のぎく」

「のぎく」は文字を読むことが困難な人のために、広報などの町の情報を伝える録音テープを作成しており、現在15人で活動しています。

単純にその紙面の右から左、上から下に文字を読むだけでは伝わりにくいの、写真や図などを言葉にして録音するとき、どんな表現をすればいいのかなど、メンバーで、相談しながら専用の録音室で読み上げています。



▲朗読ボランティア「のぎく」のメンバー

2市2町で協働のまちづくり

2月11日(祝)、中央公民館で加古川市・高砂市・稲美町・播磨町で構成する東播磨海広域行政協議会主催の「まちづくりを考えるフォーラム」



▲まちづくりの「夢」が語られました

ちづくりを考えるフォーラム」が開催されました。
基調講演では「自助・互助・公助のまちづくりに向けて」と題し、荒田英知氏(PHP総合研究所)が「広域行政では、各市町が特徴あるシステムを持ち寄ることが大切」と話されました。続いて各市町長により、住民と行政や2市2町の協働によるまちづくりについてパネルディスカッションが行われました。

当日は、約4000人の方が参加され、「今後、福祉や環境などの分野において共同して事務を処理していくべき」など、広域行政の今後のあり方について多くの意見が寄せられました。

蓮池トッピーライナーズ初優勝

2月8日(日)・11日(祝)・15日(日)の3日間、「第11回播磨町長旗争奪少年野球大会」が行われました。町内の少年野球チームに加え、北播磨地域を含む35チームが町内4カ所のグラウンドで熱戦を繰り広げました。

15日の決勝戦では大会初の延長戦の結果、蓮池トッピーライナーズが宝殿スプリット(高砂市)を破って初優勝をしました。



▲誇らしげなメンバーたち

春夏秋冬、植物と楽しく暮らす毎日

⑭ 【ガーデニング歴は】

播磨町に嫁いで来てからなので17年です。

【植物の魅力は】

自然に恵まれた中で育ってきました。今、浜辺に暮らしていても、四季の花を目で見て楽しめるところが魅力です。

【思いに残る出来事は】

4人の子供たちが、満開の春の花の中でそれぞれ入園・入学の記念写真を撮ったことです。

【アドバイスするとすれば】

上手に花を育てていらっしゃる方々の話をよく聞くことです。

【失敗談は】

毎年コガネムシの幼虫との戦いに負けてしまうことです。

【これから挑戦してみたいことは】

播磨町には、きれいに花を咲かせて楽しんでいる方が多いので、それをお手本にして、良いところをどんどん取り入れたいです。

広げよう 花と緑の輪

播磨町花と緑の協会



西口 千春さん宅

～ 古宮 ～

問い合わせ 都市計画課
☎0794-35-2366

まちかど広報員レポート

強い味方です「保育サポーター」

レポーター 茶本 恵子さん



▲保育サポーターとのふれあい

財団法人「21世紀職業財団」の行っている「保育サポート事業」のことを存じますか? 保育の心構え、保育技術などを養成講座で学んだ保育サポーターが、子どもが急に病気になる時、産休明けなのに保育所が決まらない時、急用で幼稚園の迎えに行けない時などに利用者のニーズに合わせた保育サービスを提供しています。利用する場合は、補償保険に加入している保育サポーターと利用者が、保育内容、料金などについて話し合いで自由に決めることができます。

先日、中央公民館で播磨幼稚園のお母様方の料理教室が開催された時、一緒に来ていた小さい子どもたちは、隣の部屋で保育サポーターと楽しいひとときを過ごしていました。このように保育サポーターは、いつでもどこでも子育て中のお母さんの強い味方になってくれるのではないのでしょうか。

「人と自然の博物館」と「黒豆の館」

レポーター 西村 英和さん

2月18日(水)、春を思わせる好天に恵まれ、西部コミュニティ委員会主催老人部会の「歩かう会」で三田市の「人と自然の博物館」に行きました。まずは、4階。化石に触れるレファレンスルームがあり、ビデオ番組も見られます。3階では「人と自然」。先人たちがいかに自然と上手に付き合ってきたか、映像で見ながら解説をしてくれます。2階は「生物の世界」。生物が複雑な関係の中で生活していることを紹介してくれます。1階では「地球生命と大地」、グローバルビジョンも上映してくれます。大蛇が鹿をのみ込んでる姿も見られ、一人ひとりが感心しながら観察していました。また、木製のイノシシが数匹、猿、鹿、いろいろな動物が展示されていました。



▲興味深く見るメンバー

午後は地域活性化センター「黒豆の館」に行き、館長さんのお話を聞きました。そこで黒豆に関する質問などをし、黒豆の植え方や、肥料のやり方、土寄せなど参考になりました。その後、時間があつたので、篠山城と篠山城下町を散策することもできました。

このように、西部コミュニティ老人部会は活発に活動をし、スポーツ以外でも年々参加者が増えてきています。早くも来年の行き先の相談まで話が弾んでいました。

今回の「歩かう会」も一日、楽しませていただきまして、ご苦労さまでした。

あなたに はつたつち

リレーエッセー⑥⑧

庭の生き物から教えられること

何方様の家の庭と同じように、我が家の庭の梅は今が満開です。お正月から、2種類の梅が咲き始め、そのお勤めを終えようとしているこのころに、紅白の梅が咲いてくれました。次には桃などが鳥たちを誘い、やがて密柑などの香りが蝶たちを呼び寄せてくれるでしょう。そして、どの生き物たちも生きる喜びを私たちに語りかけてくれていますし、「面倒を見てくれてありがとう」と言ってくれます。このように毎年庭木や草花、鳥や虫たちは私たちに生きる喜びを与えてくれます。感謝されて生きる喜びを下さるのは庭の生き物たちだけではありませんでした。「今年もき

れいに咲きましたね、「犬の散歩の途中に楽しませていただいています」とお声をかけられ、先生に見守られながら幼稚園や保育園の子どもたちが「ワー！きれい」。その天使の声に底知れぬ喜びと生きる力を与えられています。此方こそ本当にありがとうございます。ふと思えます。私たちこそ庭の生き物たちによって、感謝することの大切さを教えられているのだと。そして、7歳になるこれまでの人生の中で、なんと自分はこの点に無関心で、多くの人々を傷つけてきたのではなかったのかと。幼い子どももわかれわれ老人も認められ、励まされ、報いられて明日への活力を

得て生きています。ありがとうございます。と思う心の如何に大切なことか。行き先短い人生ですが、人に感謝し、少しでも感謝される日々を送りたいと思うこのころです。ありがとうございます！の一言をいつまでも心の中に！この拙文に苦吟している時、播磨中学校の脇を流れる喜瀬川の堤に並んで咲く満開の桜の木の下の、たくさんの人たちが集う情景を思い出しました。この桜は地元の方が幼木を植え、大切に育てたものと聞いております。思い巡らせば各ご家庭も家の周りを花で飾り、道行く人の心を和ませてくれていたんですね。本当に多くの方にお礼しなければなりません。



山田 豊治さん (野添)

趣味 テニス・園芸

わんぱくはりまっ子



沢田 帆乃加ちゃん (3さい) 奏太くん (4さい) 二人 元気に育ってね (お母さんより)



このコーナーに出させていただく「わんぱくはりまっ子」を募集しています。(3歳~5歳対象) 広報担当まで電話を。またスナップ写真を送ってもらってもけっこうです。

毎日子育てに一生懸命頑張っている、育児ストレスを感じている母親が多くなります。具体的な協力力は得られなくても、せめてその日にあったことを互いに話し合い、お父さんに「子育て大変だね。お疲れさん」と感じてもらえるだけでも、お母さんは精神的なゆとりが持てるのではないのでしょうか。お母さんの心を優しい言葉とまなざしでサポートして下さることを望み、子育て学習センターでは年2回、お父さんも一緒に家族で参加する両親セミナーを開き、子どもが喜ぶ遊び方や、お母さんが元気になるちょっとした秘訣を学んでいます。参加されたお父さんから「今日は楽しい有意義な一日でした。単に遊ぶだけでなく、一緒に試

HOTホット育児をめざして 「お父さんパワーを子育てに」 子育て学習センター

行錯誤しながら遊び道具を作り、出来上がった時の喜びを伝えるいい機会になりました。や、「自分では子育てに参加しているつもりだったが、参加では「従」にしなければならない。」主「であれば子育てしていると言える、そんなことを考えさせられた。父親は、母親に勝てない部分がたくさんあるけれど、父親にしかできないこともある。そう信じてそれを増やしていきたいと思っ」などの感想をいただきました。これらのセミナーが、お父さんの共に子育てしていく意識(心)を育てるいい機会となり、これからの子育てにお父さんパワーがより多く発揮されることを願っています。

「お話大好き」



▲すてきなおうちが完成します

播磨中央保育園

今、子どもたちが一番興味を持っていることは、好きなお話の中の役になって遊ぶことです。「私、今日は○○になる」と言っていると、もう一人の子が「ぼく△△になりたい」と、次々に仲間が増え、「ごっこ遊びが始まります。「おうちを作ろうか」と誘いかけると「やったー!」「作りたい」と目を輝かせて集まって来ました。ダンボールを組み立てると、家の壁に模様をつけようと、和紙に絵を描いて貼り、次に空パックを利用して屋根を作りました。2歳児らしい元気いっぱい模様のついた、すてきな家が完成すると「ここの私が描いたの」と子どもたちは満足げです。早速「こんにちは」「いらっしやい」と窓やドアから顔をのぞかせ、うれしそうです。さあ、どんなお話が出来上がるのでしょうかね。

楽しかったよ!ほんわかデー

播磨幼稚園



▲とても楽しかったよ

2月20日(金)、今日は「ほんわかデー」の日。年長児にとっては幼稚園で老人クラブの人と会う、最後の日です。年長児はお話遊びの『おむすびころりん』と『はなさかじいさん』を見てもらいました。「今度1年生になります。みんなで一生懸命したよ」「すいじいね」とほめてもらって自信を持った年長児でした。次は、年中・年少児にバトンタッチ。♪こっえんにいきましよう♪♪さんぽ♪と元気な歌声を聞いてもらいました。そして『アヒルのダンス』を地区ごとの輪になって踊るころには、遊戯室いっぱいみんなの笑顔と笑い声が広がっていました。年少児手作りの首飾りをプレゼントして「さつななら!!」今度会う時は、一つ大きくなってからからね。おじいちゃん、おばあちゃん待ってるよ!

朗読劇をしたよ!

播磨北小学校



▲練習の成果が発揮できました

2月13日(金)、播磨北小学校では児童集会が行われ、2年生が「かさこじぞう」の朗読劇を発表しました。2年生は、1月に入ってから「かさこじぞう」の学習に取り組み、読み取りの勉強をしながら、毎日毎日、朗読の練習をしてきました。この日、2年生41人が、朗読をする人、セリフを言う人、役を演じる人にわかれて、全校生の前で劇をしました。全校生の前で劇をするのは、ちよっぴり緊張しましたが、練習の成果を発揮し、堂々と演じることができ、全校生から拍手喝さいを浴びました。翌日は、今年最後の参観日でした。この日は、クラスに分かれて「かさこじぞう」の朗読劇をしました。ほとんどの子どもたちが、本を持たずに暗唱できる姿をおうちの方が見られて、感心していました。

目指すは『活気あふれる学校』!!

播磨中学校



▲力を合わせて頑張ります

1月から活動を始めた新生徒会。より良い学校を作っていくことと気合を入れて、基本方針を話し合いました。年間目標は「全力をモットーに全員が協力し合い、活気あふれる学校をつくらう。」です。とにかく明るい学校を生徒全員でつくらうということ、この目標になりました。スローガンは、誰もが覚えやすいものにしようということで「生徒の、生徒による、生徒のための学校作り。」にしました。具体的には、行事の中身を参加型としてさらに充実させたり、アンケートなどで生徒全員の意見を聞いて、目標の「活気あふれる学校」に近づけていくことを目指しています。1年間『活気あふれる学校』へ向け精一杯頑張ります!!